

目 次

第2版へのはしがき
は し が き
略 語 表

第1章 国家＝憲法——「くに」と「けんぽう」の生い立ち……………Ⅰ

Ⅰ 国 家 (2) Ⅱ 憲 法 (12)

第2章 近代立憲主義——憲法を支える思想……………19

Ⅰ 近代立憲主義の意義 (20) Ⅱ 近代立憲主義の原点——イギリス (23) Ⅲ 近代立憲主義の成立——アメリカとフランス (27) Ⅳ 近代立憲主義の現在 (34)

第3章 国民主権——民主主義の基本原則……………37

Ⅰ 国民主権と選挙 (38) Ⅱ 民主政治と国民の政治参加 (47) Ⅲ 国民主権の意義 (54)

第4章 立法権——国会の仕組みと働き……………59

Ⅰ 国会の組織 (60) Ⅱ 国会の権能 (64) Ⅲ 国政における議会の位置 (69)

第5章 行政権——内閣と行政権の統制……………73

Ⅰ 大日本帝国憲法下の行政権と内閣 (74) Ⅱ 日本国憲法下の行政権と内閣 (75) Ⅲ 行政権の課題 (83)

第6章 地方自治——いちばん身近な民主政治……………89

Ⅰ 地方自治の展開 (90) Ⅱ 地方公共団体 (93) Ⅲ 住民の権利 (98)

第7章 司法権——公正な紛争解決と人権の確保…………… 103

- I 近代立憲主義と司法権 (104) II 司法権の意義 (106)
III 司法権の組織と運用 (109) IV 違憲審査制と憲法訴訟
(115)

第8章 平等——他者を尊重し自己を尊重する…………… 121

- I 基本的人権の内容 (122) II 基本的人権の制約 (126)
III 法の下での平等 (128)

第9章 精神生活——国民主権に不可欠な自由…………… 135

- I 精神的自由 (136) II 思想良心の自由 (137) III 信教の自由 (138)
IV 学問の自由 (142) V 表現の自由 (143) VI
集会結社の自由 (152)

第10章 経済生活——自由国家から社会国家へ…………… 155

- I 社会・経済的人権の展開 (156) II 居住移転の自由・国籍
離脱の自由 (158) III 経済的自由 (159) IV 社会権——生存
権など (164)

第11章 新しい人権——憲法に書かれていない人権…………… 171

- I 基本的人権の性質と憲法13条 (172) II 名誉・プライバシー
の権利 (176) III 自己決定権 (181) IV 環境をめぐる権
利 (183)

第12章 平和主義——戦争の放棄…………… 187

- I 日本国憲法の平和主義への道のり (188) II 憲法前文・9
条の解釈 (190) III 日本の安全保障と国際貢献 (195)

索引 201

Column 目次

1 啓蒙主義 (22) 2 宗教改革 (24) 3 憲法制定権力 (32) 4 近代立憲主義成立期における国民の政治参加 (34) 5 国民主権にいう「主権」と「国民」(40) 6 社会民主主義の発祥 (42) 7 変換型議会とアリーナ型議会 (62) 8 議院内閣制と大統領制 (76) 9 税の不平等 (80) 10 私的諮問機関 (87) 11 革新自治体と「地方の時代」(91) 12 平成の大合併 (92) 13 法の支配と法治主義 (104) 14 権力分立 (105) 15 司法改革 (114) 16 法解釈の方法 (117) 17 人権の国際的保障 (123) 18 未成年者の権利 (124) 19 積極的差別是正措置 (129) 20 日本国憲法とマイノリティ (133) 21 靖国神社公式参拝 (141) 22 ソ連型社会主義の終焉 (158) 23 特別権力関係論 (166) 24 憲法の私人間効力論 (166) 25 憲法が定める個人主義 (174) 26 医療現場と自己決定権の問題 (182) 27 新しい公害と環境アセスメント (184) 28 米軍基地問題 (197)

Keyword 目次

1 市民革命 (22) 2 政治学 (48) 3 国権の最高機関 (66) 4 行政委員会 (76) 5 7条解散 (78) 6 建設国債 (81) 7 独立行政法人 (87) 8 町村総会 (100) 9 代用監獄 (113) 10 間接差別 (130) 11 従軍慰安婦問題 (131) 12 同和(部落)問題 (132) 13 思想の自由市場論 (145) 14 明白かつ現在の危険 (147) 15 ニュー・ディール政策 (157) 16 環境基本法 (184) 17 平和的生存権 (190) 18 集团的自衛権 (193)